

令和7年1月23日

南部町監査委員 各位

南部町長 陶山清孝
(公印省略)

決算審査意見における指摘事項に対する措置について(回答)

令和6年8月28日に行われた決算審査講評時にいただいた指摘事項について別添のとおり回答します。

令和5年度

決算審査意見における
指摘事項に対する回答

- ・ 一般会計
- ・ 特別会計
- ・ 企業会計

令和7年1月

令和 5 年度南部町一般会計、特別会計及び企業会計の決算審査
意見において指摘のなされた事項についての措置について

一般会計、特別会計の審査意見

- ① 来るべきデジタル化社会の基盤整備として、令和 2 年度から始まった光ファイバー整備事業が令和 5 年度で完了し、高画質の動画配信サービスやWi-Fi設定によるスマートフォンやタブレット、パソコンによるインターネット接続が快適な通信環境へと改善された。中海テレビ放送加入率は、この事業期間で 10.03%増加し令和 6 年 3 月末現在で 97.87%となったが、これは、光ファイバー網整備による高速・大容量通信に対する期待の大きさといえる。南部町のこれまでのデジタル化の状況は、全職員へのパソコン配備（一部業種を除く）、電子決裁システムをはじめ各種システムの導入、リモートワーク、電子申請、RPAの実装、窓口手数料のキャッシュレスなど取り組まれているが、令和 5 年 12 月のデジタル化推進に関するアンケート結果によると、概ね肯定的なご意見と今後への期待感が多い。令和 4 年 2 月に策定された南部町DX推進基本計画の基本理念である「持続可能で住みよい町の暮らしをデジタルで実現！！」に向けて、更にデジタル技術の取り組みを拡げ、多くの町民が利便性の向上を実感できる暮らしへとつなげていただきたい。

【措置】（デジタル推進課）

令和 5 年度は役場業務の効率化にあたり、インターネットの仮想化を実装しました。また、適宜開催している高齢者を対象としたスマホ教室やスマホなんでも相談会を継続し、デジタル格差解消に向け努めていきます。

今後も、南部町DX推進基本計画に基づき、自治体の情報システムの標準化・共通化やマイナンバーカードの普及促進を中心にデジタル技術を活用した町民の利便性向上と業務の効率化に努めます。

- ② 令和 4 年 3 月改定の南部町公共施設等総合管理計画では、建替え更新や補修の時期の集中が指摘され、従来型の対処療法から予防保全の視点へ脱却し計画的な事業執行で資金需要や事務作業等の平準化を図る方策が示されている。また、計画の推進には職員の意識改革も必要とされ、取り巻く環境の変化に対応するため随時フォローアップを行い、必要に応じ計画の見直しを行っていくとされているが、人口減少・少子高齢化の進行と利用需要の変化により、設置条例で定められた本来の目的と利用実態に継続して差がある公共施設が確認できた。（青年の家、上長田会館、会見改善センター、プラザ西伯）将来に渡って、町民一人当たりの負担へも影響が考えられるため、時期を逃さず、複合化、除却・転用等により公共施設等の効率化に向けた取り組みを進めていただきたい。

【措置】（総務課）

令和6年度に第2期で改定する南部町個別施設計画により各施設の状況を把握し、各課と共有・協議するとともに、評価を行います。評価に基づき関係地域との意見交換等の検討過程を経て、年次的な公共施設の効率化・費用の平準化を図ることが出来るよう取り組んでいきます。

健全化指標の審査意見

それぞれの指標について、早期健全化基準内であることを確認した。

単年度実質公債費比率は年次的に低下し、公営企業債等の他会計に対する将来負担見込額も減少している。

今後も、公営企業等の事業経営の安定化を図りつつ、財源確保や事業の効率化、経費節減など計画的な財政運営の維持と公営企業会計等に対する一般会計からの繰出金に対しては、注意を払い取り組みを進められたい。

【措置】（総務課）

健全化指標は基準内ですが、今後見込まれる施設の維持修繕費用の増加に対応するためにも、施設の統合、廃止、用途変更などを検討し実現させることで支出を抑え、一般財源の確保を図ります。

また、特別会計や公営企業会計への繰出金が年々上昇してきていることから、事業の安定化、効率化、経費節減などのバランスをとりながら計画的な財政運営に努めていきます。

水道事業会計の審査意見

- ① 令和5年度は前年に続き民間施設の開設に伴い、料金収入・加入金等の増により黒字決算となった。また、更新計画に基づく老朽管更新事業は着実に実施され、老朽破損による修繕工事が減少するなど効果が上がっている。引き続き、適正管理のもと水道水の安定供給に努められたい。

【措置】（建設課）

近年の物価上昇などの影響により、今後更なる維持管理費や更新費用の増加が見込まれる中で、維持管理費用等縮減と経営の効率化に努め、適切な料金体系の下で健全な財政運営となるよう努めていきます。

病院事業会計の審査意見

- ① 令和5年度は、経営強化プランにそって、薬剤SPD方式による薬価交渉など経費の削減に取り組まれたが、新型コロナウイルス関連の診療報酬上の特例措置がなくなり収益が減り赤字決算となった。一方、医療提供体制としては、各種補助金等を活用して老朽化した機器の更新、人工

呼吸器の整備、へき地医療拠点病院としての必要な医療機器を整備するなど質の高い体制が整えられた。また、介護医療院さくらへの病床転換が行われるなど、経営効率化の具体的な取組が着実に進んだ。経営を取り巻く状況は、人口減少による入院、外来患者の減少、設備の更新、施設の維持管理費の増等、今後も厳しいところであるが、西伯病院の果たすべき役割、機能等に熟慮しながら地域密着型多機能病院として行政と連携し一体となった病院経営に努力されたい。

【措置】（西伯病院）

各種委託費等削減に取り組んでいますが、光熱水費、人件費、給食を含めた物価高騰が予想され、病院経営は急速に厳しさを増しています。

一方、各種医療サービスを提供するにあたり、最新機器の導入は不可欠であり、また、それら施設管理についても、長寿命化や更新投資等、中長期的な視点を持ちながら計画的に進めていきます。

今後、加速する人口減少に伴い患者獲得は一層難しくなりますが、「経営強化プラン」を踏まえ、基幹病院や町内診療所との連携を強化した集患対策、診療単価の底上げ、未収金対策等に努めます。

地域から必要とされる病院へと進化するため、健康福祉課など関係機関と緊密な連携を図りながら事業展開していきます。

在宅生活支援事業会計の審査意見

- ① 令和5年度は新型コロナウイルス感染者に対する療養支援がなくなり収益減となり赤字決算となったが、今後も在宅医療の地域需要は大きく、利用者のニーズに応えるため、体制等の検討に取り組まれない。

【措置】（西伯病院）

令和5年度赤字決算の起因についての、分析と同時に、事務の効率化を含めた体制の改善を図ることとしています。また、今後大きくなる在宅医療の地域需要については、訪問看護の機能強化を早期に検討していきます。令和6年度は対前年6%増の訪問件数に対応しており、今後も需要を見極めながらサービスが提供できる体制を整えていきます。